

## 基本計画

# 序章 基本計画とは

## 1 基本計画の位置づけ

基本計画は、みんなで目指すまちの姿（基本構想：将来都市像）を実現させるため、個別のまちづくり分野ごとに、まちづくりの目標やその実現に向けた取組の方針などを掲げ、今後、具体的な事業を展開していくための指針をなすものです。

## 2 基本計画の計画期間

目まぐるしく変化を続ける社会経済動向や、まちづくりに対する人々のニーズの変化に柔軟に対応するため、基本計画の計画期間は、平成 23 年度～27 年度の 5 年間とします。

## 3 基本計画の構成

### （1）戦略プロジェクト

今後 5 年間を見据えた中で、優先事項を明確にしたまちづくりを実践するため、限りある行政資源を有効に活用し特に重点的・優先的に推し進めていく施策群を示しています。

### （2）分野別の取組方針

#### ①目指すべき姿

個別のまちづくり分野ごとに 35 の施策を設定し、それぞれの施策を推進することによって実現を目指すべきまちの姿を示しています。

#### ②現状と課題

各施策に関わる近年の社会経済動向やこれまでの倉吉市の主な取組状況、さまざまな機会を通じて市民の皆さんからいただいた意見・要望などの現状を簡潔に整理した上、今後のまちづくりにおける主要課題を明らかにしています。

#### ③今後の取組方針

「目指すべき姿」の実現に向けた基本的取組を示しています。

#### ④成果を測定するための指標

ビジョンの進行管理と必要な改革・改善に継続的に取り組むため、各施策を推し進めることによって、何をどれだけ達成するのかというねらいを具体的な数値目標として掲げ、今後、どの程度目標が達成できたのかを、より分かりやすく点検できるようにします。

指標は、必ずしも各施策の配下に位置づけた取組の成果をすべて網羅できるものではありません。平成 28 年度～32 年度を計画期間とする次期基本計画では、各施策の達成状況や取組に対する市民の満足度などを踏まえながら、より精度が高く、客観的に成果を点検できるよう、指標の見直しを行います。

### （3）行政経営の方針

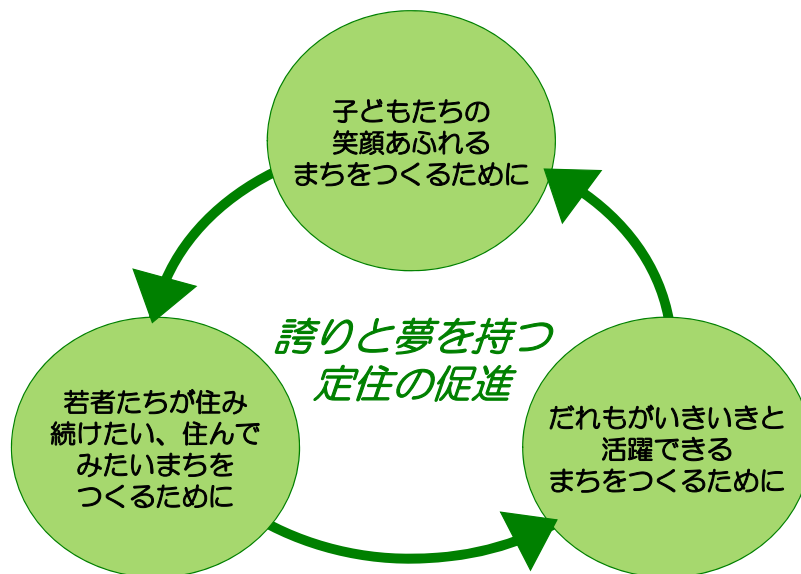
限りある行政資源をより一層効果的・効率的に活用しながら、ビジョンを着実に推進するための行政経営の方針を示しています。

# 第Ⅰ章 戦略プロジェクト

## 1 戦略プロジェクトの位置づけ

戦略プロジェクトとは、極めて厳しい財政状況の中で、倉吉市が基本構想に掲げたみんなで目指す倉吉市の将来都市像「愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉」の着実な実現に向け、限りある行政資源を無駄なく最適に活用しながら、分野をまたいで重点的・優先的に押し進めていく施策群を表します。

具体的には、「誇りと夢を持つ定住の促進」を基本テーマに、子どもたちが倉吉市をもっと好きになり、ふるさと・倉吉に強い愛着と誇りを持ちながら、たくましく暮らし学ぶとともに、大人たちの手によってまちを活性化させ、まちを支える・まちに誇りを持った若者たちが倉吉に戻り、高齢者を含めただれもが住み慣れた地域の中で、いつまでもいきいきと活躍する好循環を産み出すことによって、未来に希望が持てる持続性・発展性にあふれた暮らしよい倉吉をしっかりと確立します。



## 2 戦略プロジェクトの概要

### 子どもたちの笑顔あふれるまちをつくるために

すべての親たちが倉吉市で子どもを産み、育てる喜びを実感できるとともに、子どもたちにとっても、このまちで生まれ育ったことに強い愛着と誇りを持つことができるよう、地域ぐるみで子どもたちの笑顔と笑い声のあふれるまちづくりを進めます。

- 子どもを産み、育てやすいまちをつくる<7>
- 仕事と子育てが両立でき、子どもを持つことを社会全体で応援する<8>
- 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもを育成する<16>
- 子どもたちの心身ともに健やかな成長をうながす<17>

### 若者たちが住み続けたい、住んでみたいまちをつくるために

倉吉の産業を元気にすることで、市外在住者を含めた多くの若者たちにとっても魅力ある雇用の場を確保するとともに、ゆとりと潤いを感じながら、いつまでも安全・安心で快適に暮らすことができるまちづくりを進めます。

- 農林水産業を起点とした六次産業（倉吉ブランド）を確立する<1>
- 農林水産業の魅力と可能性を最大限に引き出し、活力を高める<2>
- ものづくり産業の競争力を高めるための環境を整える<3>
- 観光・コンベンションを基軸に、まちの集客力を高める<5>
- にぎわいのあるまちなかを再生する<25>
- ゆとりと潤いにあふれた住環境を整える<29>

### だれもがいきいきと活躍できるまちをつくるために

自助・共助・公助を適切に組み合わせながら、高齢者を含めただれもが住み慣れた地域の中で、いつまでも自立していきいきと自分らしく活躍することができるまちづくりを進めます。

- みんなで支え合い、助け合える環境をつくる<9>
- 高齢者が生涯現役で活躍できるまちをつくる<10>
- 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める<13>
- 地域における人と人の結びつきを強め、地域力を高める<22>
- 市民参画と協働のまちづくりを支える仕組を充実させる<36>